第１章　概要編

本編について　.....3
①「構造の安定に関すること」の概要　.....4
② ４つの等級項目について　.....6
③ チェックの流れについて　.....8
④ ６つのチェックポイントについて　.....10
⑤ なぜこうしたチェックが必要か　.....17

第２章　解説編

１　壁量のチェック

（１）性能表示の必要壁量を求めます。　.....24
① 性能表示の地震力に対する必要壁量を、各階について求めます。
② 性能表示の各階・各方向の風圧力に対する必要壁量を求めます。
（２）存在壁量を求めます。（性能表示の存在壁量 ＝ 建築基準法の存在壁量）.....32
① 耐力壁の種類ごとの壁倍率を確認し、各階・各方向ごとに拾い出します。
② 耐力壁等の種類ごとの壁倍率を確認し、各階・各方向ごとに拾い出します。
③ 耐力壁・準耐力壁による、各階・各方向の存在壁量を算出します。
（３）性能表示の壁量の判定　.....39
① 各階・各方向の存在壁量が、耐震等級の必要壁量より大きいことを確認します。
② 各階・各方向の存在壁量が、耐風等級の必要壁量より大きいことを確認します。
（参考）建築基準法の壁量のチェックについて　.....40

２　バランスよい壁配置のチェック

（１）各階・各方向ごとに、２つの「側端部分」を確認します。　.....45
（２）各階・各方向ごとに、２つの側端部分の存在壁量を求めます。　.....45
（３）各階・各方向ごとに、２つの側端部分の、
建築基準法の地震に関する必要壁量を求めます。　.....45
（４）各階・各方向ごとに、２つの側端部分の「壁量充足率」を求めます。　.....45
（５）各階・各方向ごとに、２つの側端部分の壁量充足率・壁率比を確認します。　.....45

３　床倍率のチェック

（１）各階・各方向ごとに、耐力壁線をチェックします。 51
① 各通りごとに存在壁量を集計します。
② 各通りが耐力壁線としての条件を満たすかどうか、確認します。
③ 耐力壁線間距離をチェックします。
（２）各階・各方向ごとに、床区画それぞれの必要床倍率を求めます。 55
① 床区画を設定します。
② 各床区画の係数αを求めます。
③ 地震と風について、各床区画の必要床倍率を求めます。
（３）各階・各方向ごとに、床区画の平均存在床倍率を求めます。 59
① 水平構面の仕様とその存在床倍率を整理します。
② 床区画の平均存在床倍率を求めます。
（４）各階・各方向ごとに、床区画それぞれの平均存在床倍率をチェックします。 63
（参考）床区画の特殊な平行小区画と直交小区画の考え方 64

４　接合部のチェック

（１）筋かい端部の接合部をチェックします。（建築基準法） 73
（２）柱頭・柱脚の接合部をチェックします。（建築基準法） 73
① 柱頭・柱脚の接合部のチェック・Ｎ値計算
② 柱頭・柱脚の接合部のチェック・仕様規定
（３）胴差と通し柱の接合部をチェックします。（性能表示） 78
（４）水平構面の外周の横架材の接合部倍率をチェックします。（性能表示） 79
① 水平構面の外周の横架材の必要接合部倍率を算出します。
② 必要接合部倍率以上の存在接合部倍率の接合部の仕様を選定します。

５　基礎のチェック

.....81

６　横架材のチェック

.....83

７　表一覧

.....87

第３章　事例編

（０）モデルプラン 102
（１）壁量のチェック 108
（２）バランスよい壁配置のチェック 115
（３）床倍率のチェック 118
（４）接合部のチェック 124